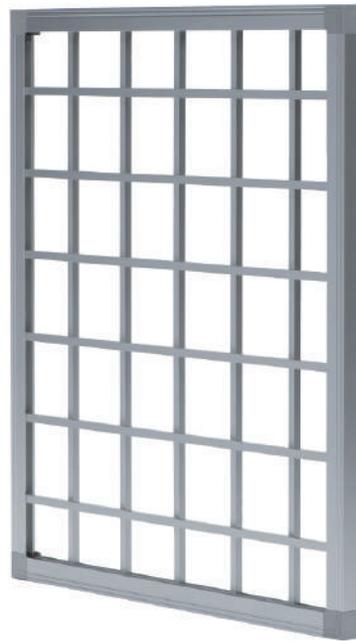
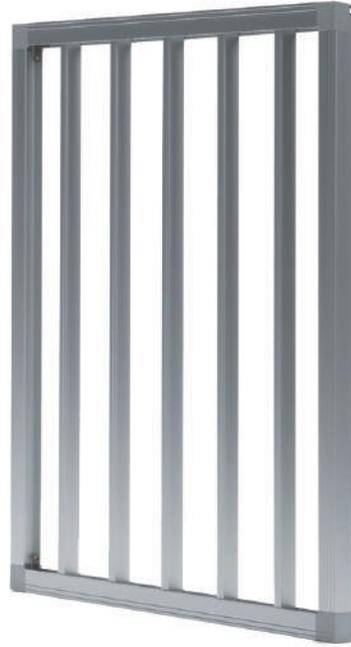
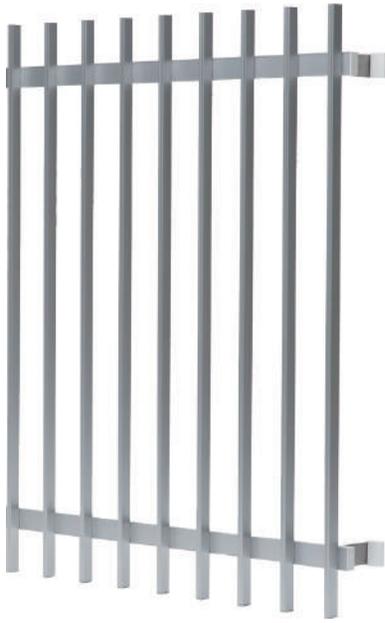


RESTA オリジナル面格子

取扱説明書



この度は、当社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

商品を末永く安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

もくじ

・ 開封時に知っておいてほしいこと	1 ページ
・ 施工前にお伝えしておきたいこと	1 ページ
・ 梱包内容	2 ページ
・ 商品機構	2 ページ
・ 取付方法	
サッシ枠付け ～縦型タイプ～	4 ページ
サッシ枠付け ～枠付き縦型・クロス・和風井桁タイプ～	8 ページ
壁付け（標準納まり）～全タイプ共通～	10 ページ
壁付け（入隅納まり）～全タイプ共通～	15 ページ

開封時に知っておいてほしいこと

配送時における傷や破損を防ぐため、クッション材やテープで保護し、頑丈に梱包しております。お手数をおかけしますが、開梱後はこれらの梱包材の処分にご協力をお願いいたします。

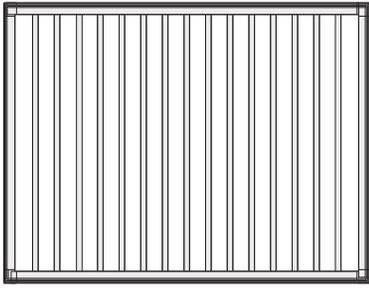
商品によっては、製造過程で多少のすり傷や擦れが発生する場合がございます。目立つもの、または使用感を損なうものについては交換いたします。品質向上に最大限努力を行っておりますが、手作業での製作のため、どうしても多少のキズ等が発生する場合がございますことをご了承ください。

施工前にお伝えしておきたいこと

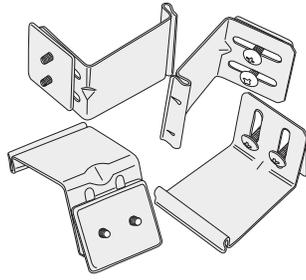
- ※ 2階以上の窓に取り付ける場合は、落下防止のため、必ずしっかり固定されているか確認してください。
- ※ 施工不良や天災、改造、お客様の不注意により発生した故障や事故に関しましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 面格子を取り付けても、夜間や外出時は窓の施錠を必ず行ってください。
- ※ 強度や防錆性を保つため、ブラケット・ビス等の部品は、必ず指定のものを規定数使用してください。
- ※ 壁付けの場合は、必ず柱と間柱の位置、外壁材と下地材の状態などを、建築図面等で確認してから取り付けてください。また、防水のために必ずシーリング材を使用してください。シーリングが不十分で、水漏れや建物内部の腐食が起きた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 壁付けの製品に付属しているビスは木製下地用です。コンクリートや鉄骨に穴を開ける場合は、専用のビスを別途ご用意ください。

梱包内容

面格子本体



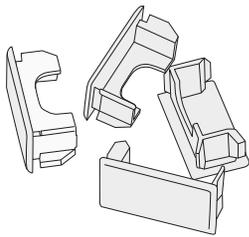
ブラケット 4個



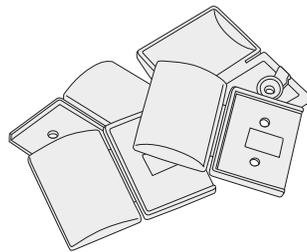
取扱説明書(本紙)



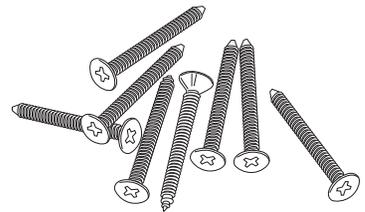
保護キャップ 4個



ブラケットキャップ 4個



ビス 8本



※縦型タイプのみ付属

※壁付けの場合のみ付属

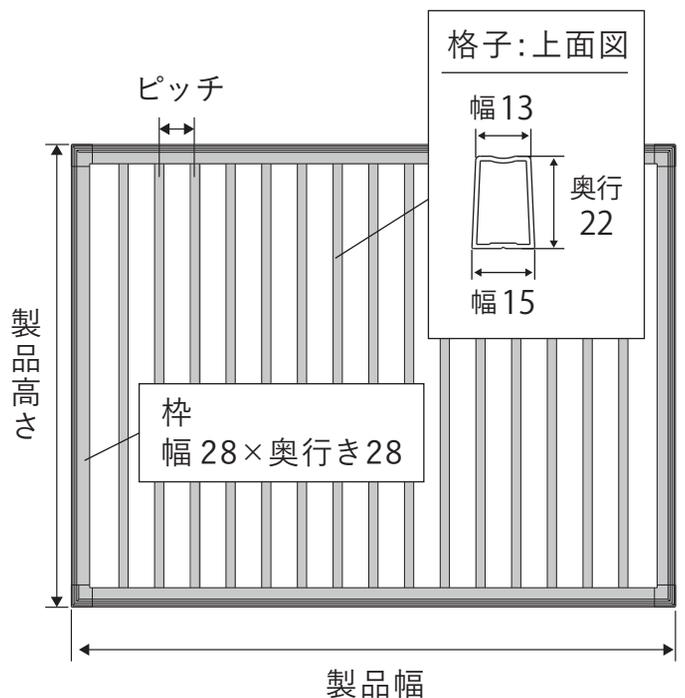
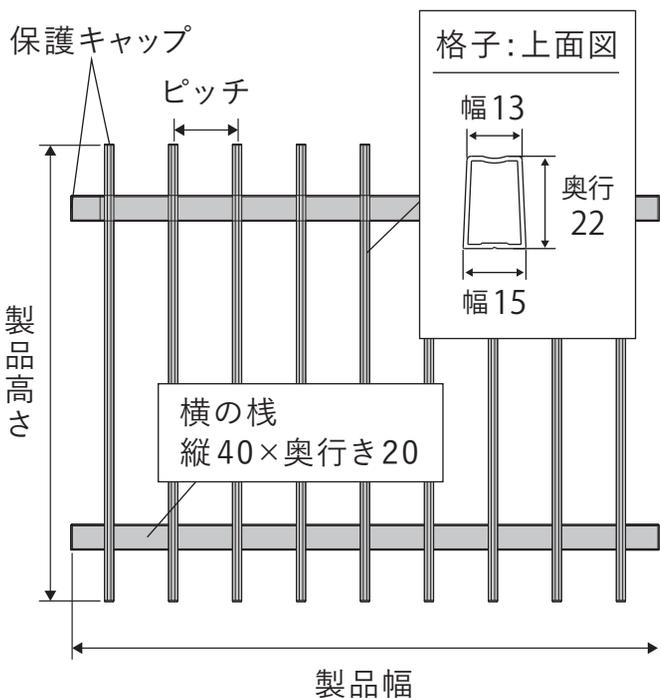
商品機構

単位：mm

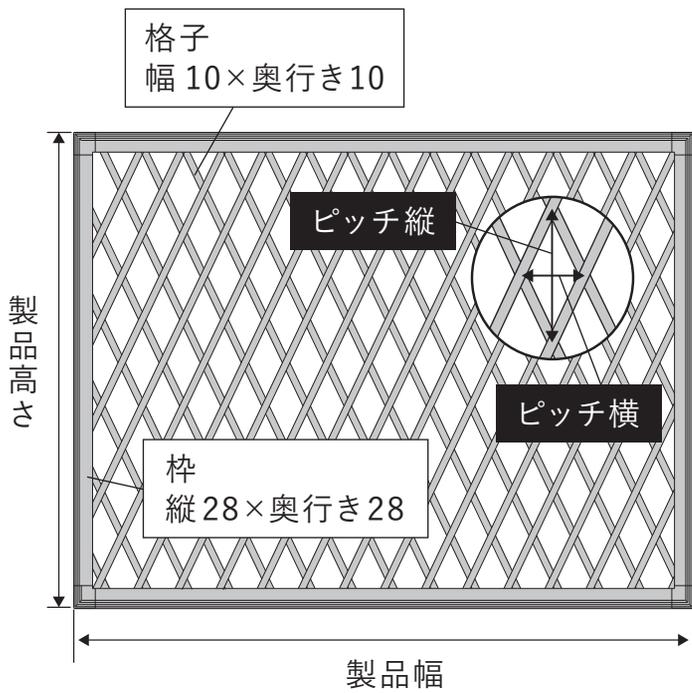
面格子本体

縦型タイプ

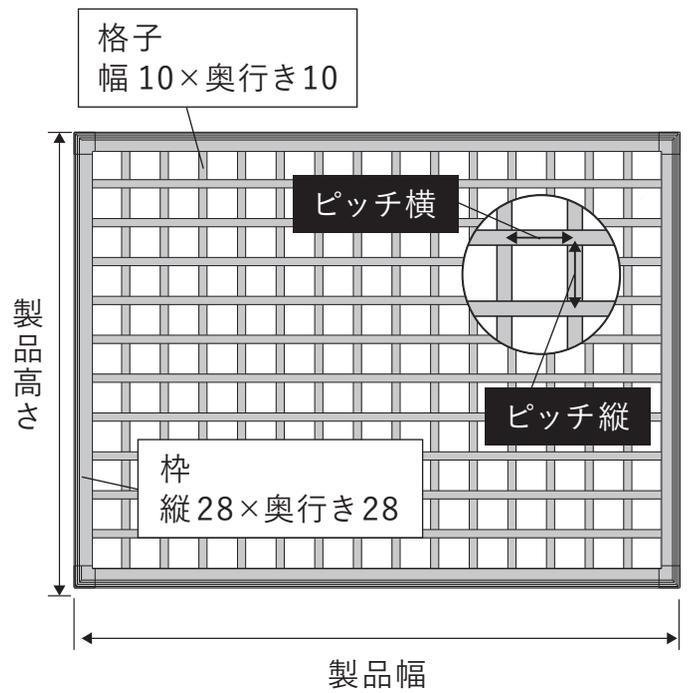
枠付き縦型タイプ



クロスタイプ



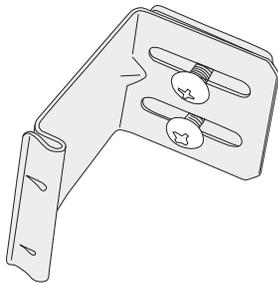
和風井桁タイプ



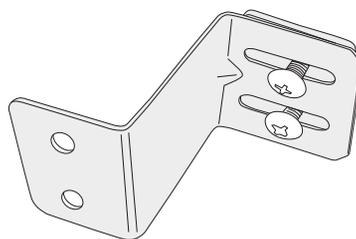
ブラケット

※ご注文時にお選びいただいた取付方法に適したブラケットが同梱されています。

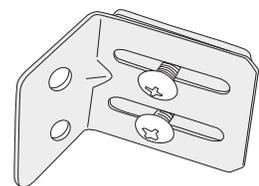
サッシ枠付け



壁付け(標準納まり)

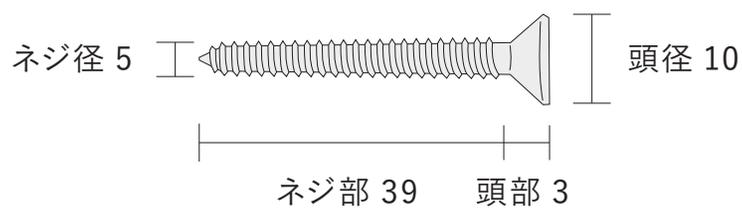


壁付け(入隅納まり)



ビス

※壁付けの場合のみ付属



🔧 取付方法

▶ 取付方法は動画からもご確認いただけます。

サッシ枠付け



壁付け

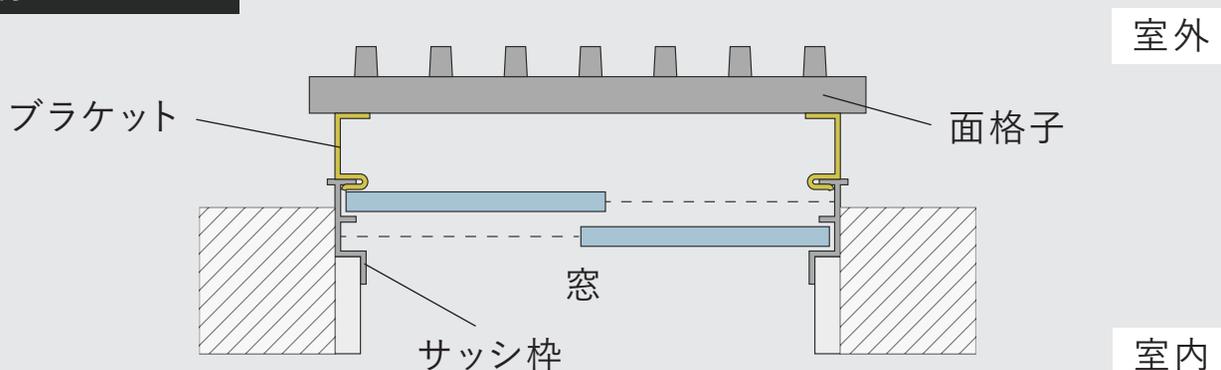


サッシ枠付け



縦型タイプ

取り付けイメージ

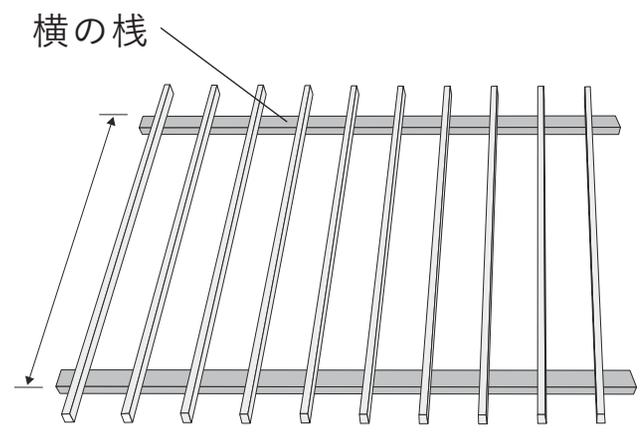


1 ブラケットの取付位置を決める

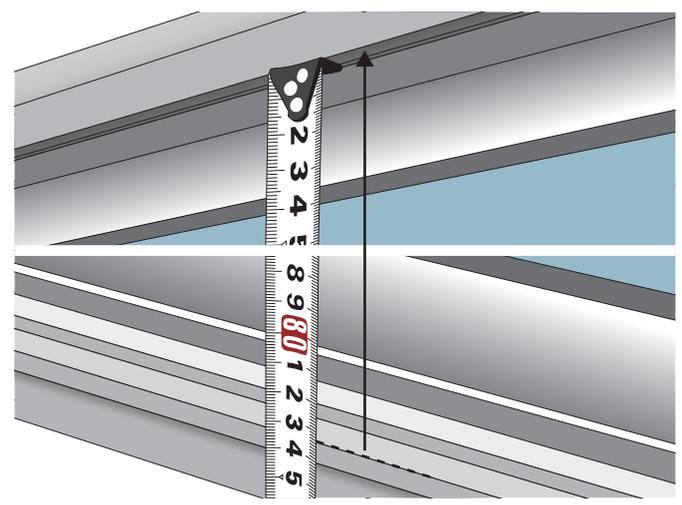


まずはじめにブラケットの取付位置を決めます。ブラケットはサッシ枠の上下左右の4箇所に取付けるので、均等な配置になるように、あらかじめ印をつけておきましょう。

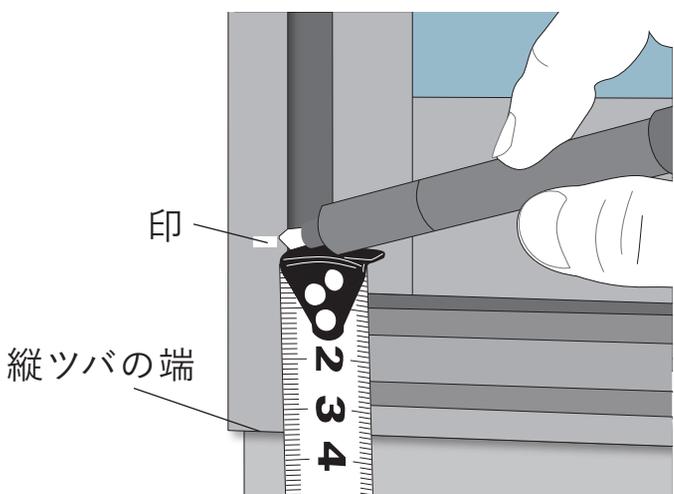
POINT ブラケットの取付位置を正確に出す方法



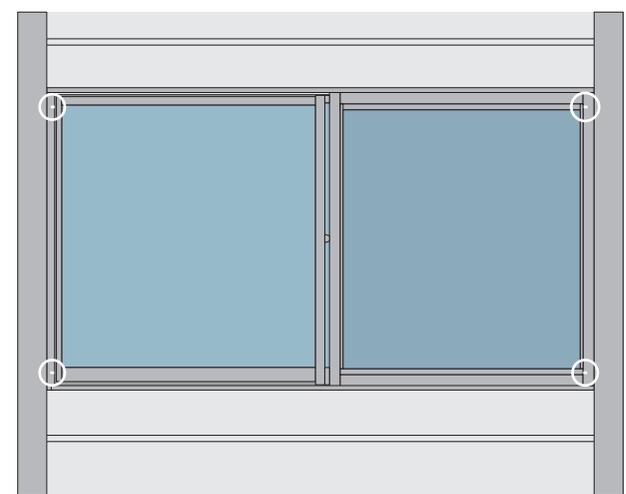
面格子の「横の棧」の上端から下端までの高さ寸法を測ります。



次に、窓サッシの内寸高さを測ります。

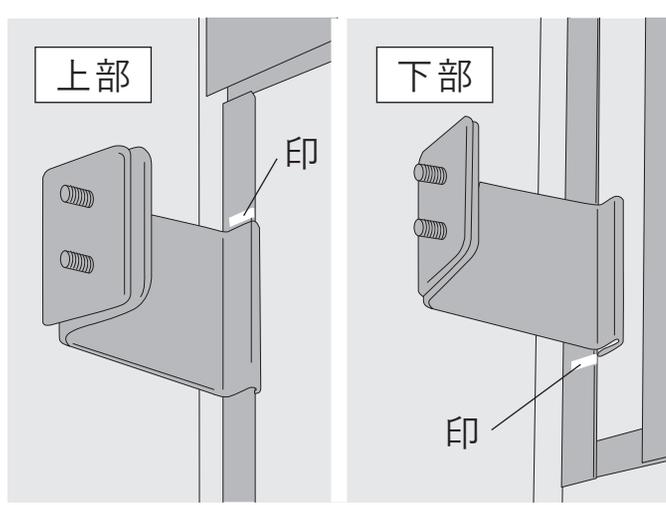


窓サッシの縦ツバの端から、(窓サッシの内寸高さ - 横の棧の高さ) ÷ 2 の寸法分の位置に印をつけます。

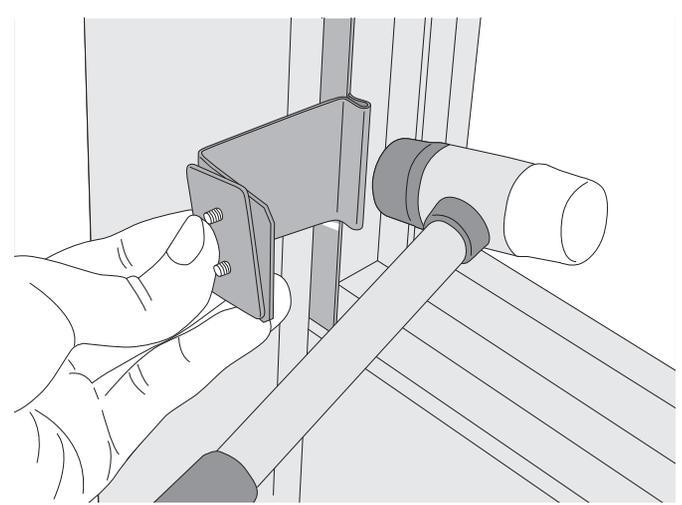


印に合わせてブラケットを取り付けると、均等な位置に配置できます。

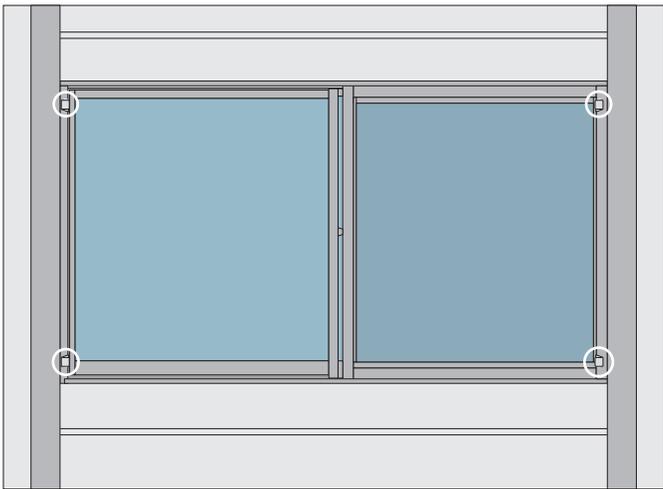
2 ブラケットを取り付ける



ブラケットを、印をつけた箇所の内側に来るよう取り付けます。

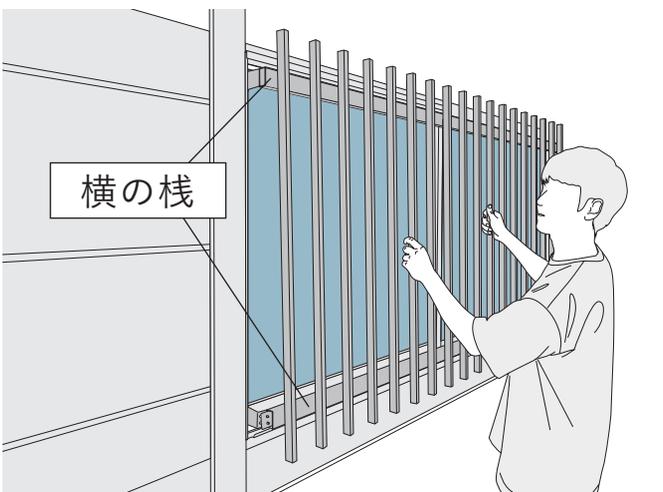


ハンマーでサッシに対して真っすぐ力を入れて叩きましょう

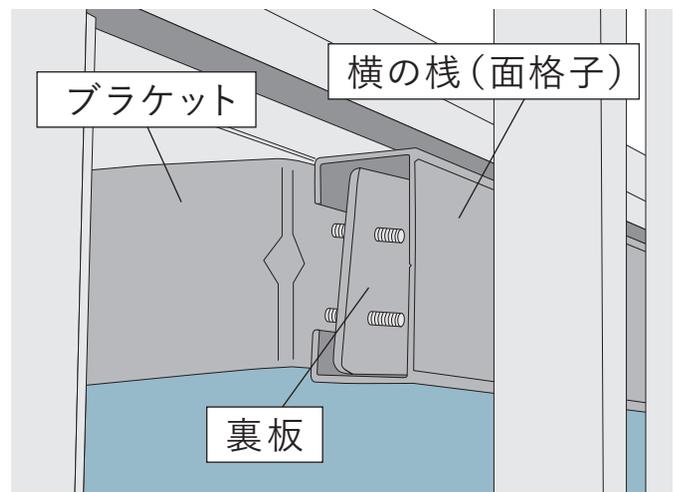


4箇所にはめ込んだら、ブラケットの取り付けは完了です。

3 面格子をブラケットに通す



面格子の「横の棧」をブラケットに通して取り付けます。



このとき、ブラケットと裏板の間に「横の棧」が通るようにしましょう。

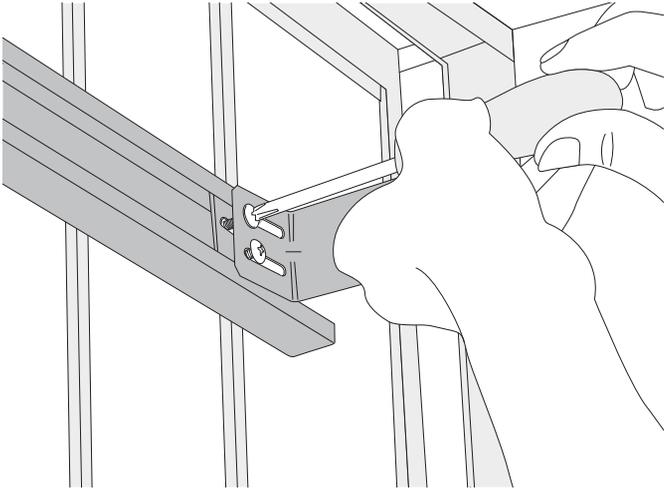


一度に両側に通すのではなく、左側→右側というように、片側ずつ通します。

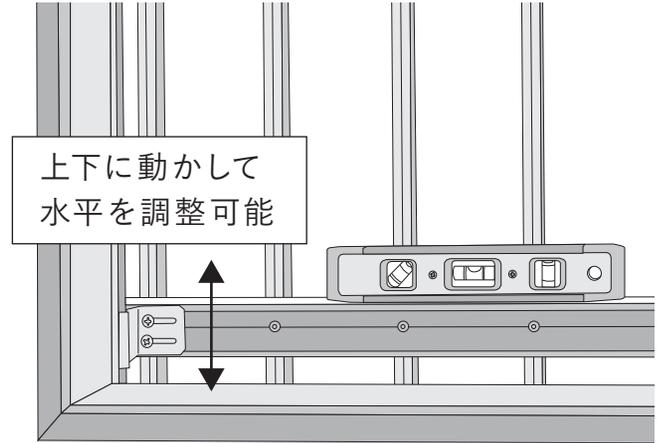


左右均等になるように面格子の位置を調整します。

4 ブラケットのビスを締める



室内側から、右上のブラケットのビスを締めます。プラスドライバーでしっかり固定しましょう。

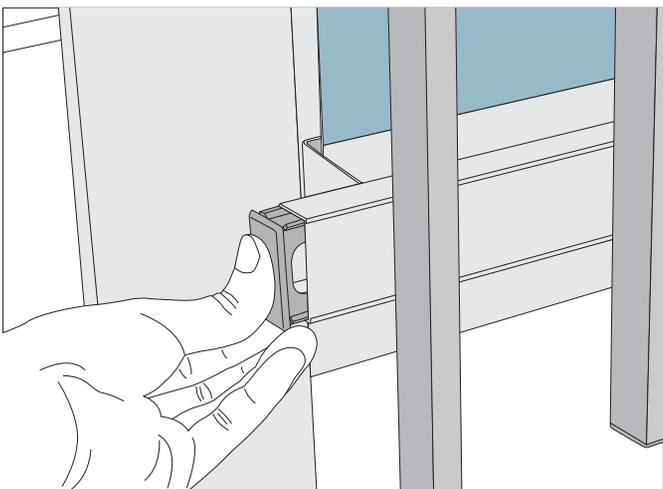


次に、左下のブラケットを締めます。このとき、水平がずれていても、面格子を上下に動かせば微調整が可能です。

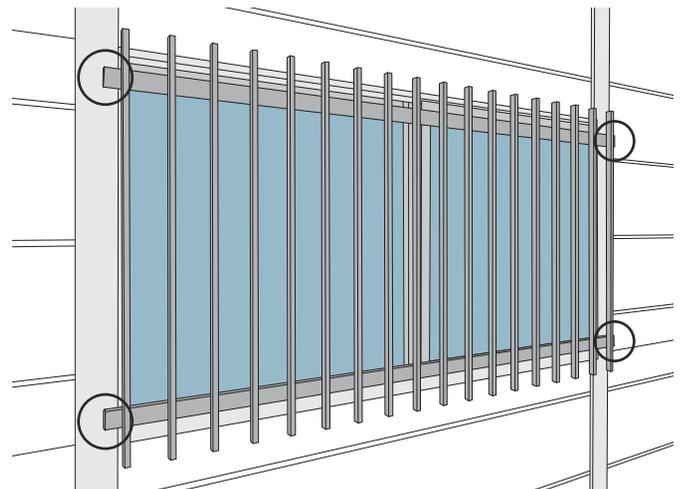


ブラケット二個を固定すると、面格子の位置が固定されるので、残りのビスを締めていきましょう。

5 保護キャップをセットする



横の棧の端に保護キャップをセットします。

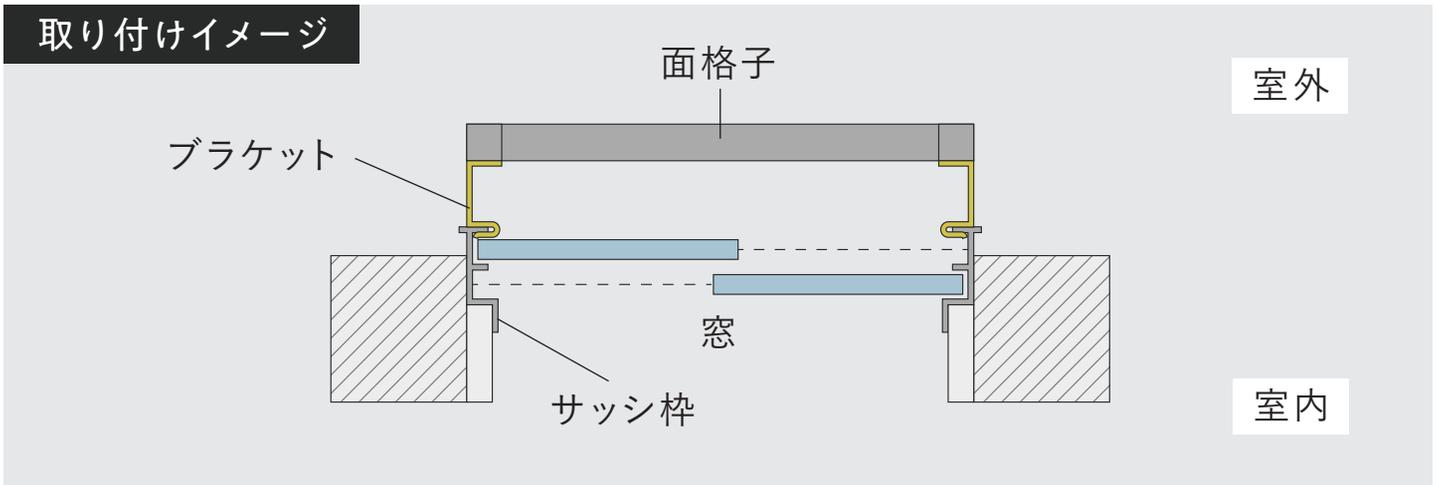


4箇所ともにセットできたら、取り付け完了です。

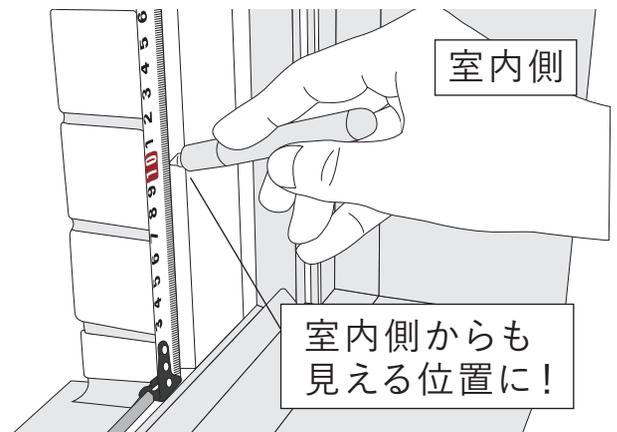
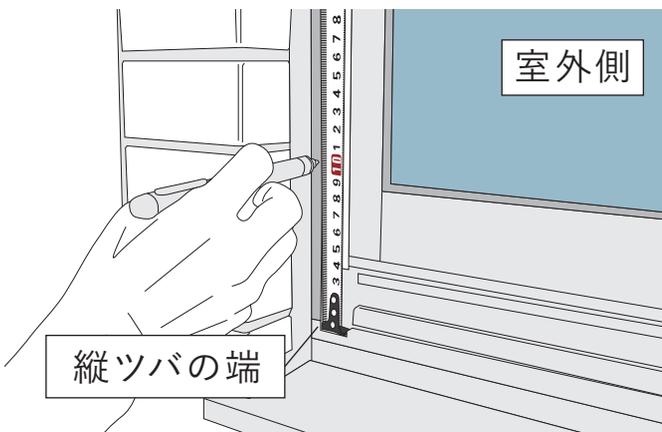
サッシ枠付け



取り付けイメージ



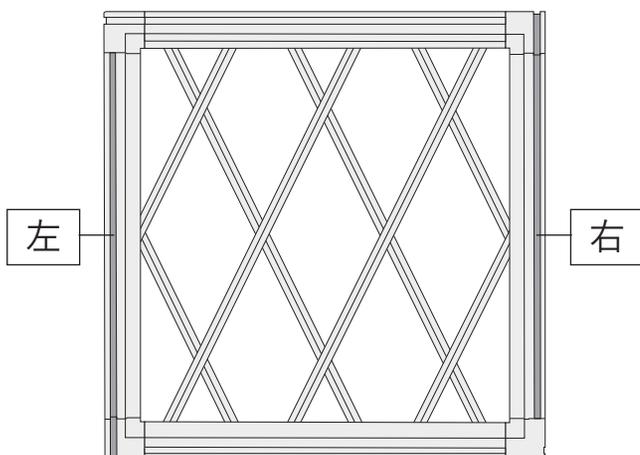
1 サッシの取付位置を決める



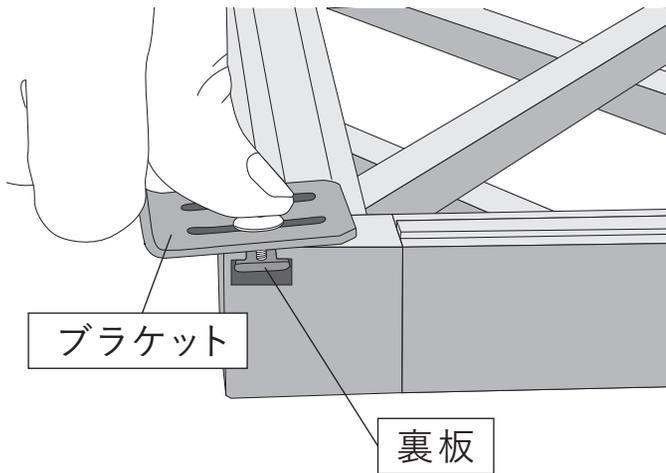
窓サッシの縦ツバの端から10cm*の箇所に、室内側から見える位置で印をつけます。サッシの四隅（左下、左上、右下、右上）のすべてに印をつけましょう。

*5～20cmの範囲内であれば何cmでも問題ありませんが、決めた寸法で4箇所とも印をつけてください

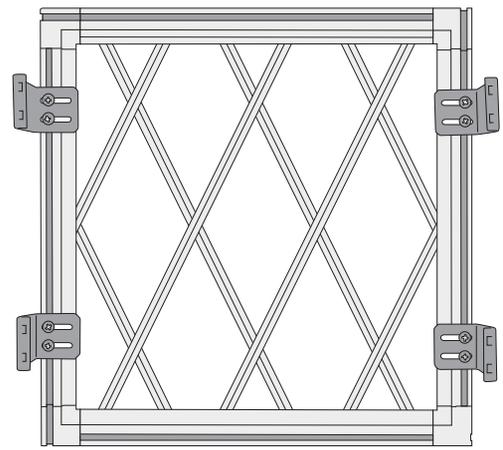
2 面格子にブラケットを仮止めする



面格子の裏面のレールにブラケットを取り付けます。レールは上下左右にありますが、左右の辺に通すようにしましょう。

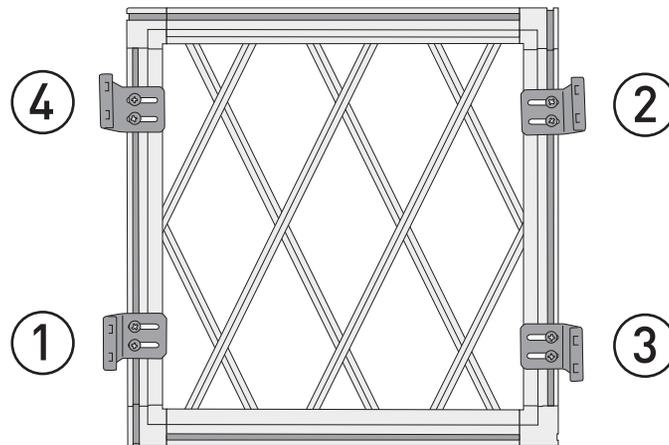


ブラケットの裏板がレールにはまるように、スライドさせて通します。

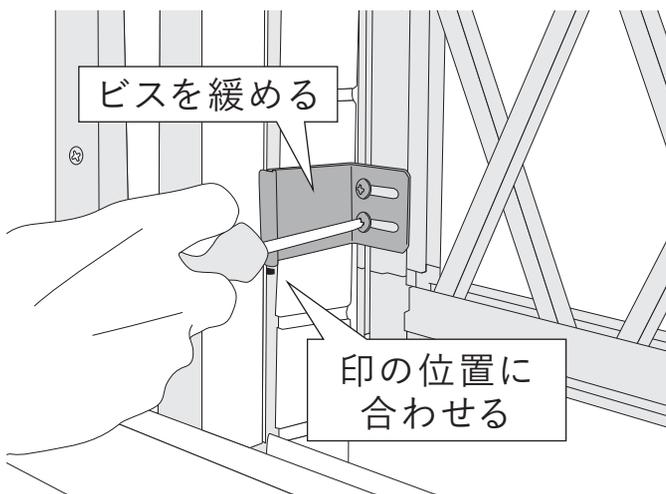


ブラケットが落ちない程度に、緩めにビスを締めて仮固定します。

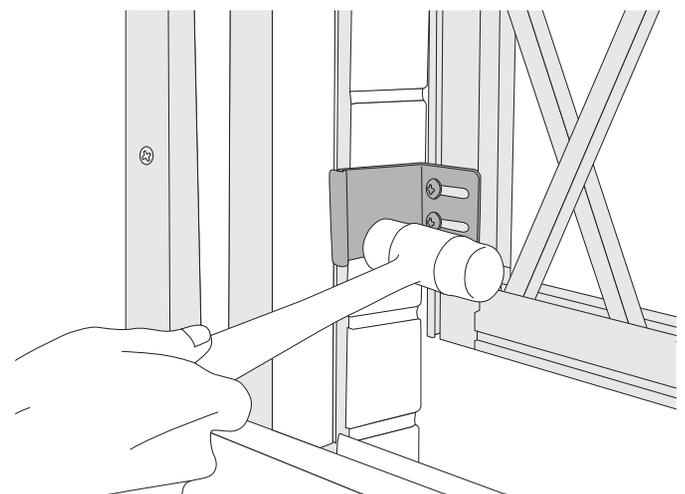
3 サッシにブラケットを固定する



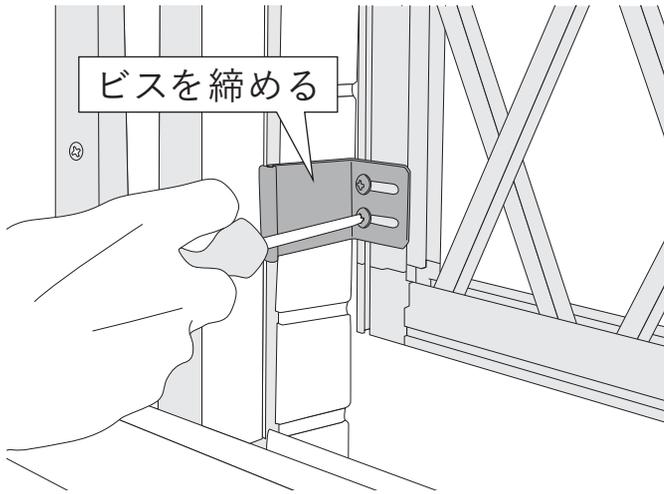
左下→右上→右下→左上の順番でサッシに固定します。
 ※面格子のサイズが大きい場合は、2人がかりで取り付けることを推奨します。



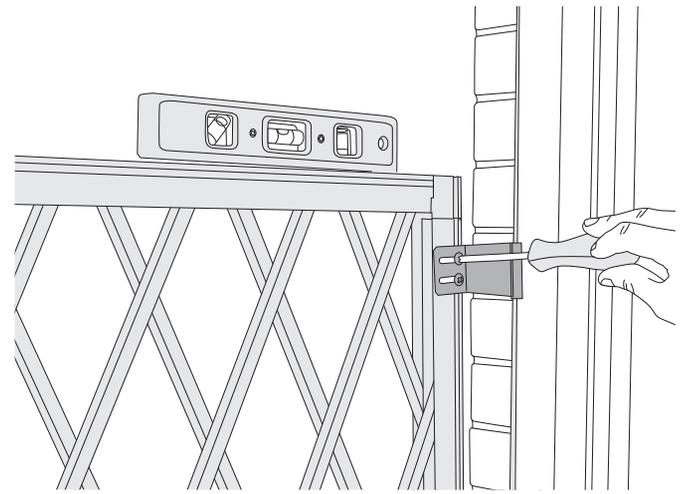
仮止めのビスを緩めて、ブラケットを印の位置を合わせます。



次に、ハンマーを使って、しっかりサッシ枠に打ち込みます。



面格子の位置が窓サッシに対して左右均等になるように調整し、ビスを締めてしっかり固定します。



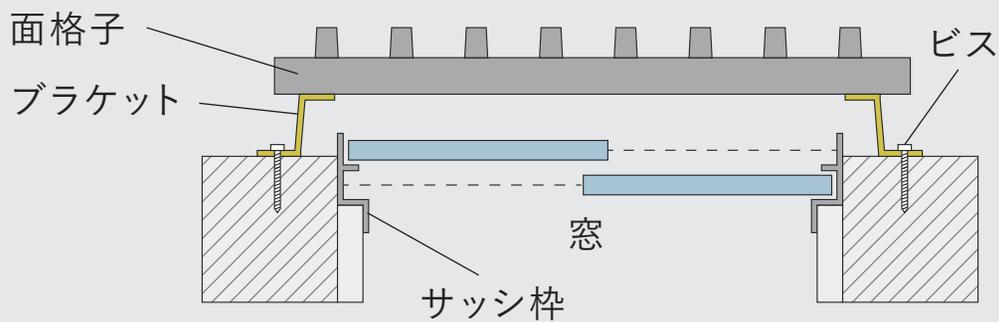
次に、水平器等で水平を見ながら、右上のブラケットを固定します。最後に、右下・左上のビスも固定できたら取り付け完了です。

壁付け（標準納まり）

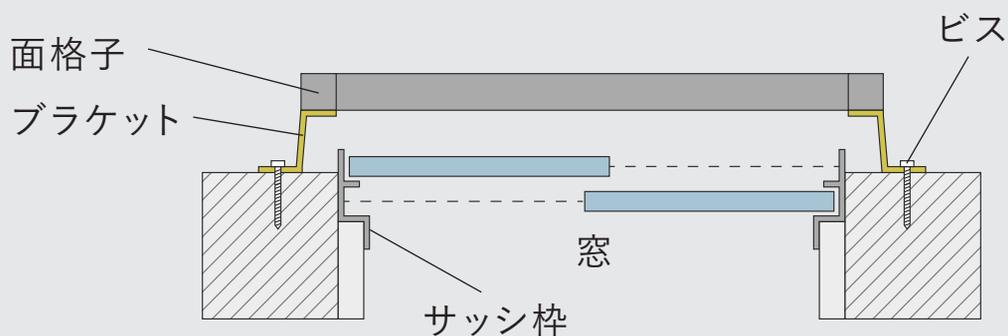


取り付けイメージ

縦型タイプ

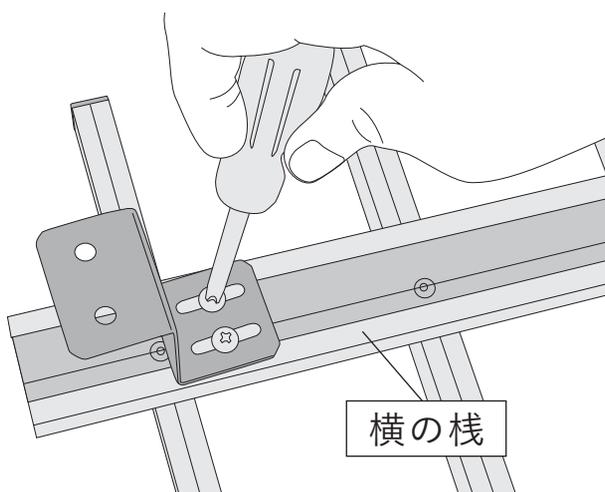


枠付き縦型・クロス・和風井桁タイプ

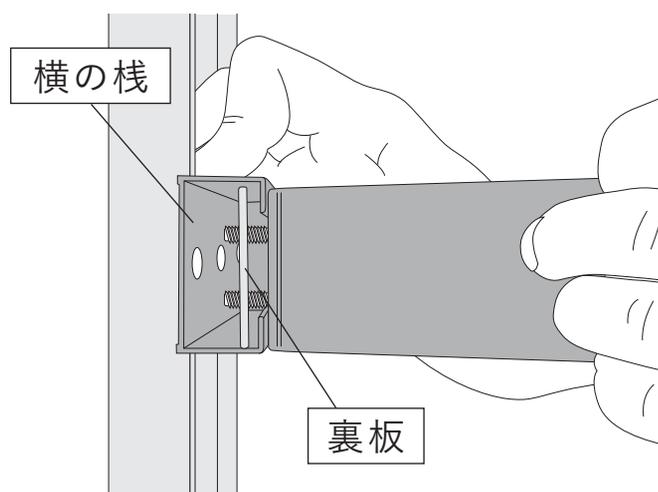


1 ブラケットを取り付ける

縦型タイプの場合

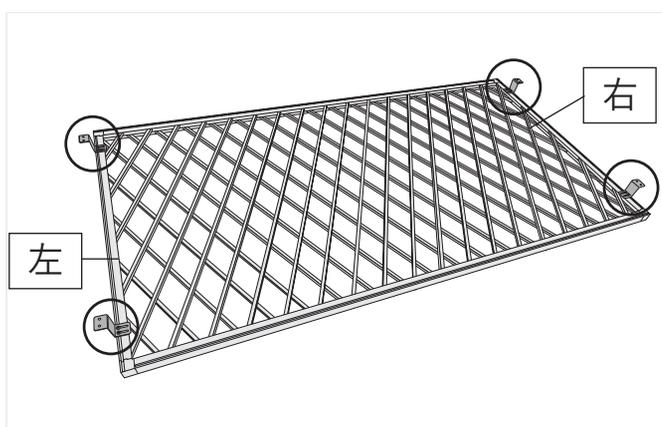


ブラケットを面格子の「横の棧」に取り付けます。

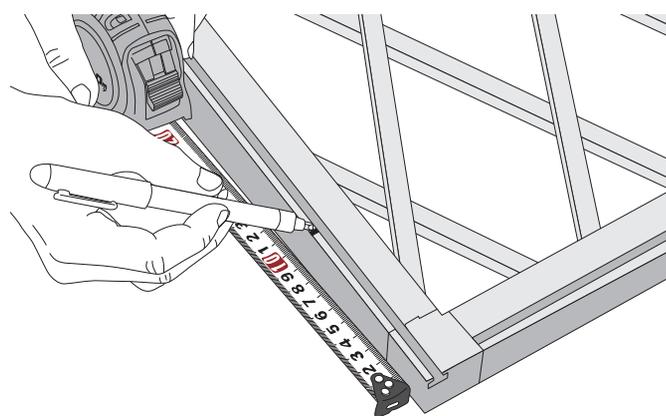


取り付ける際は、ブラケットと裏板の間に「横の棧」が通るようにしましょう。

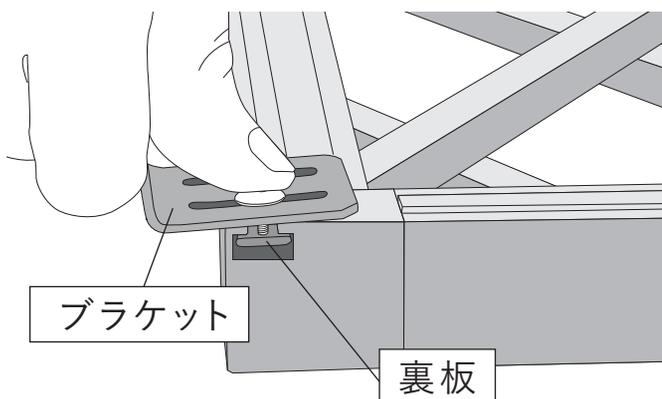
枠付き縦型・クロス・和風井桁タイプの場合



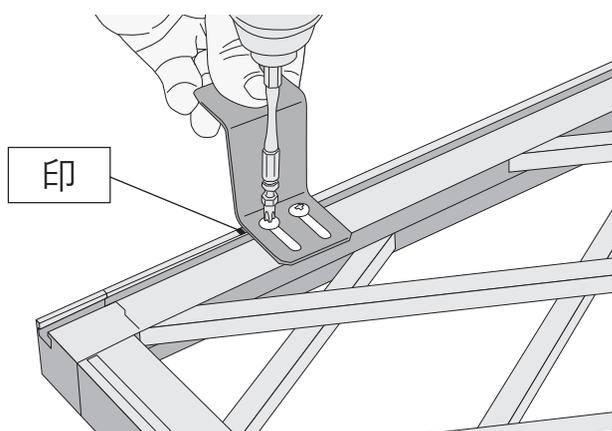
面格子の裏面のレールにブラケットを通して取り付けます。レールは上下左右にありますが、左右の辺に通すようにしましょう。



面格子の四隅の端から10cm※の位置に印をつけます。
※5～20cmの範囲内であれば何cmでも問題ありませんが、決めた寸法で4箇所とも印をつけてください。

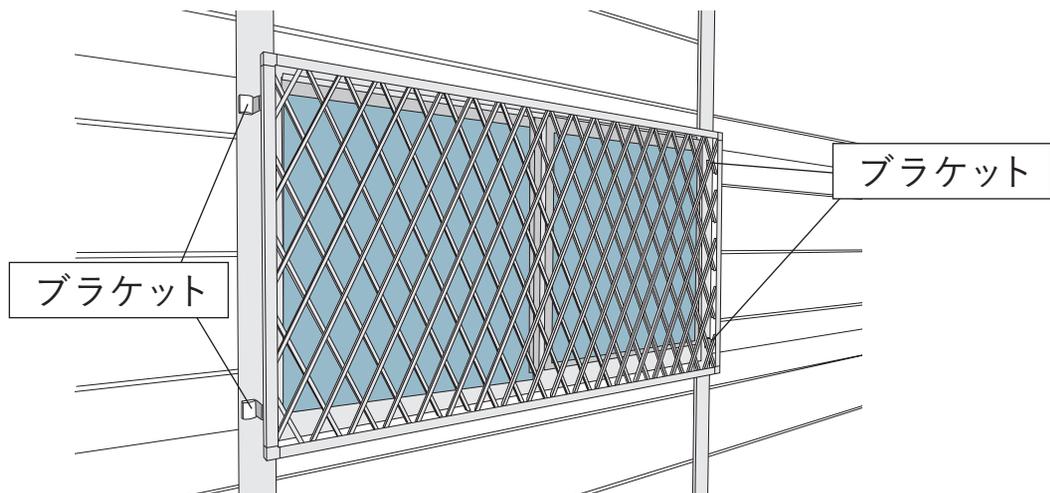


ブラケットの裏板がレールにはまるように、スライドさせて通します。



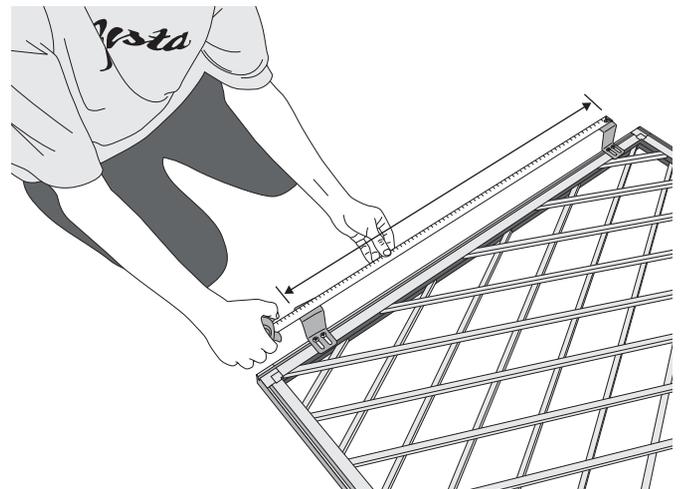
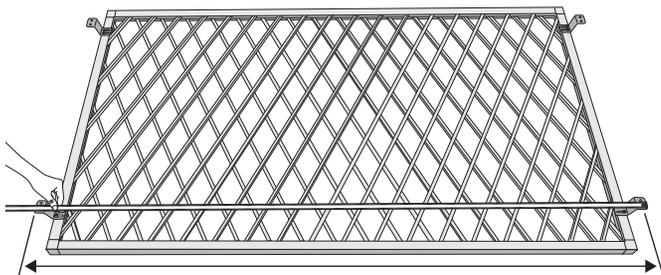
印をつけた箇所の内側までスライドさせ、ドライバーでブラケットを固定します。

2 取付位置を決める

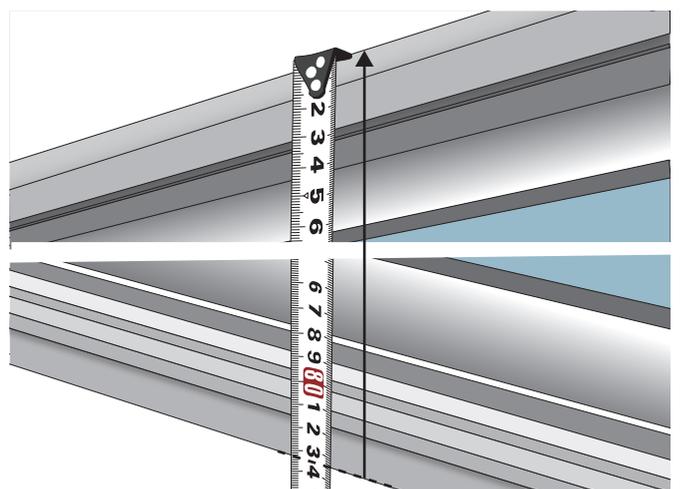
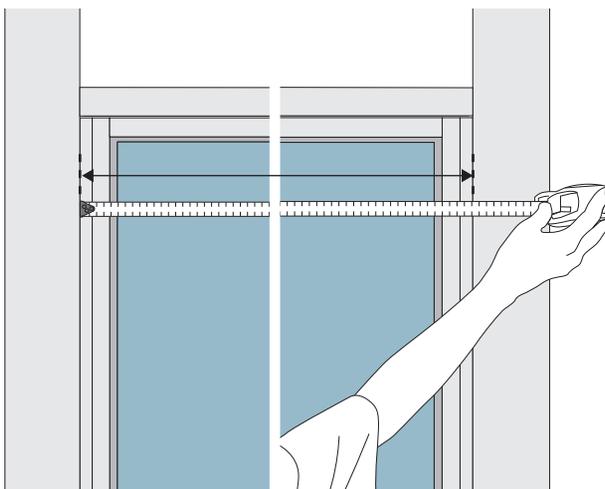


ブラケットを上下左右の4箇所に取り付けるので、均等な配置になるように、あらかじめ印をつけて、下穴を空ける位置を決めておきましょう。

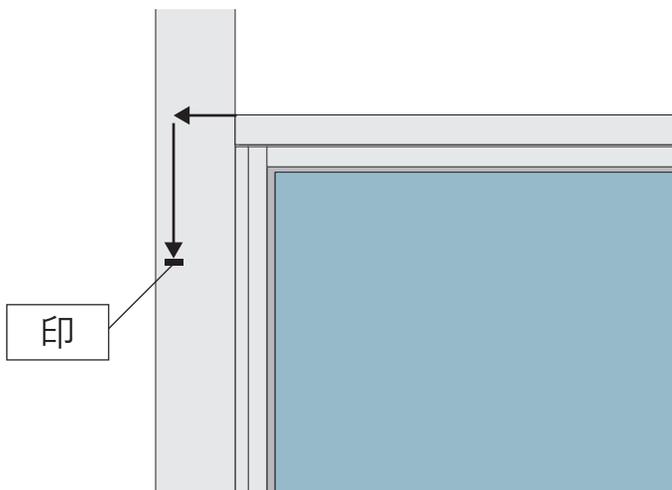
POINT 取付位置を正確に出す方法



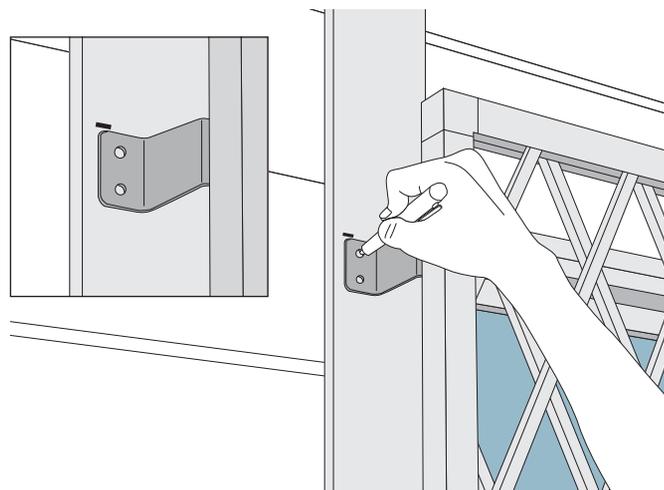
面格子に取り付けたブラケットの端から端までを、幅・高さともに測ります。



次に窓サッシの外寸を、幅・高さともに測ります。

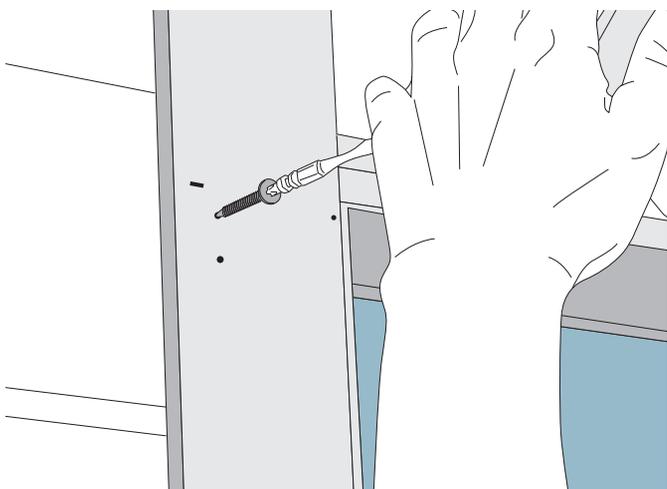


幅は（ブラケットの端から端 - 窓サッシ外寸）÷2、
高さは（窓サッシ外寸 - ブラケットの端から端）÷2
を計算して、その寸法分だけ窓サッシの角から移動し
た位置に印をつけましょう。

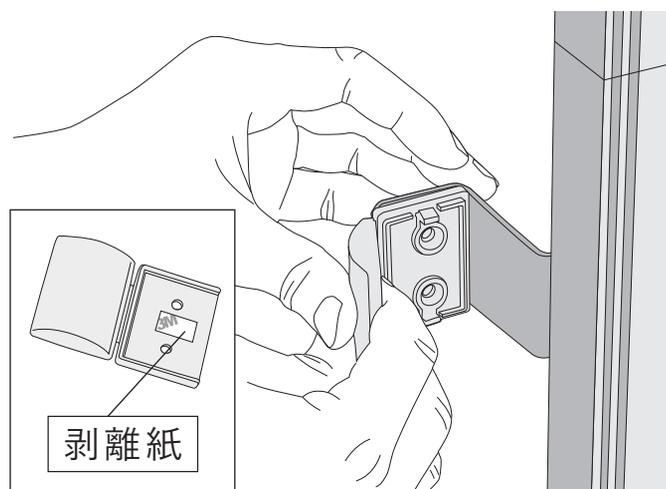


印をつけた位置に、ブラケットの角を合わせます。そ
の状態で、ブラケットの穴に印をつけて、下穴を開け
る位置を確定させましょう。

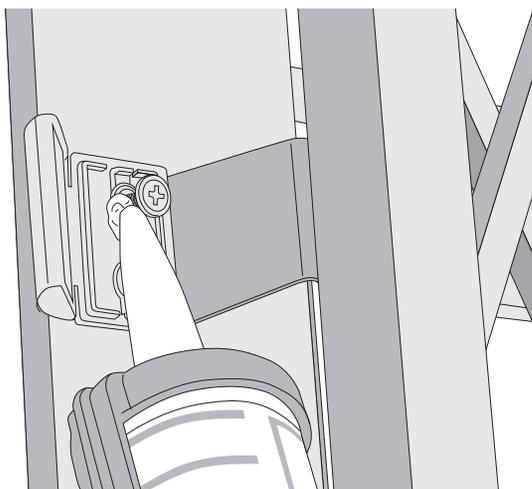
3 最初の一箇所をビス止めする



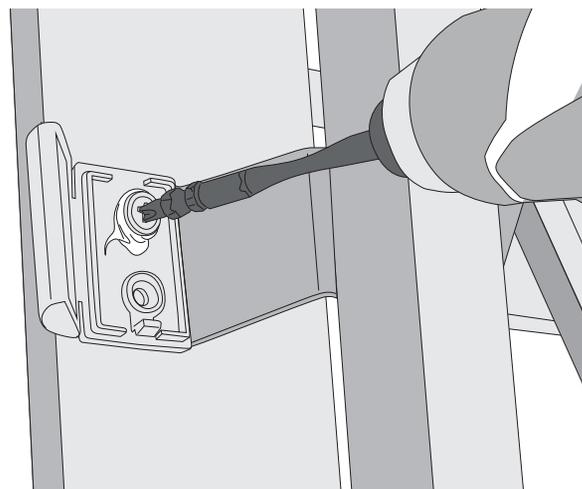
印をつけた位置に、インパクトドライバーで下穴を開
けます。



ブラケットキャップ裏面の剥離紙を剥がして、ブラケッ
トに貼り付けます。

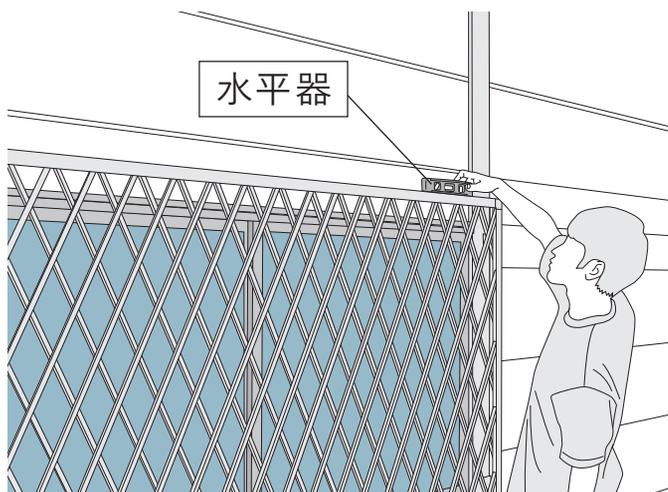


ビスを途中まで入れ、シーリング材をつけます。

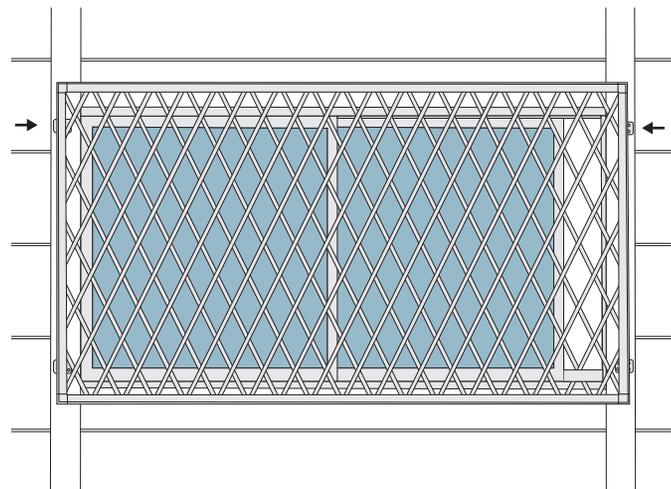


シーリング材がしっかりついていることを確認して、ビ
スを最後まで締めます。

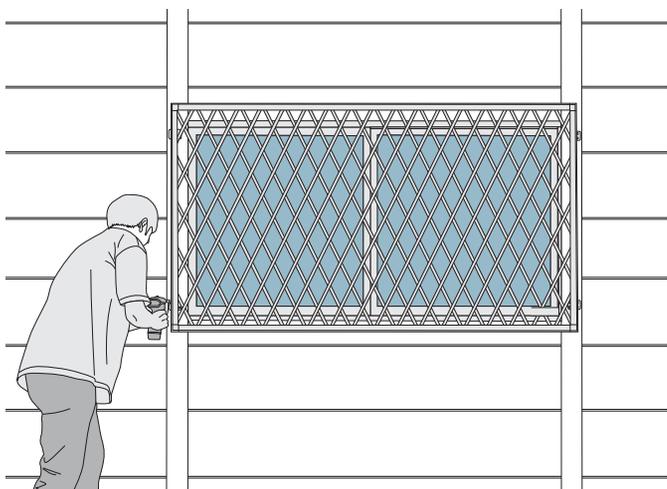
4 残りの箇所もビス止めする



水平器等で水平を見ながら、残りの箇所の下穴を開ける位置を決めます。



左上と右上を最初にビス止めすることで、面格子の位置が固定され、施工が楽になります。



残りの箇所にも下穴を開けて、シーリングをしつつ、ビスを打ち込みます。全ての箇所を固定できたら取り付け完了です。

壁付け（入隅納まり）

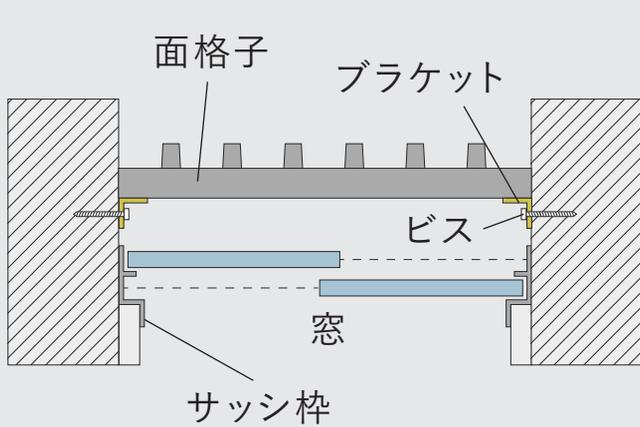


取り付けイメージ

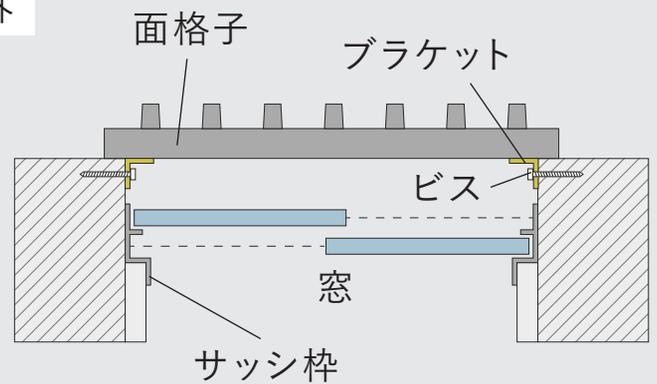
縦型タイプ

開口の内側に取り付ける場合

開口の外側に取り付ける場合



室外

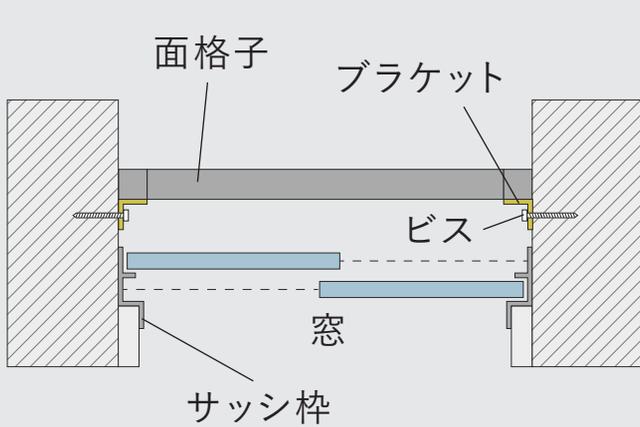


室内

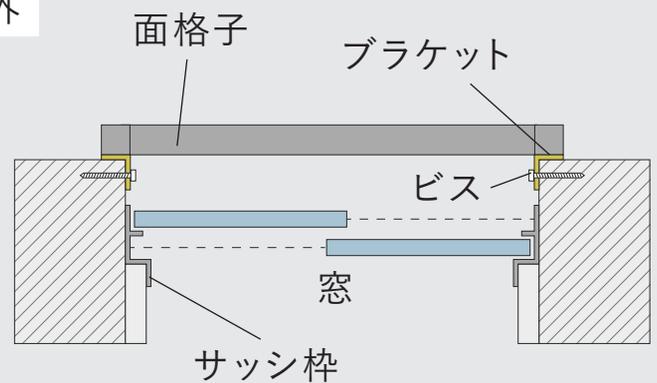
枠付き縦型・クロス・和風井桁タイプ

開口の内側に取り付ける場合

開口の外側に取り付ける場合



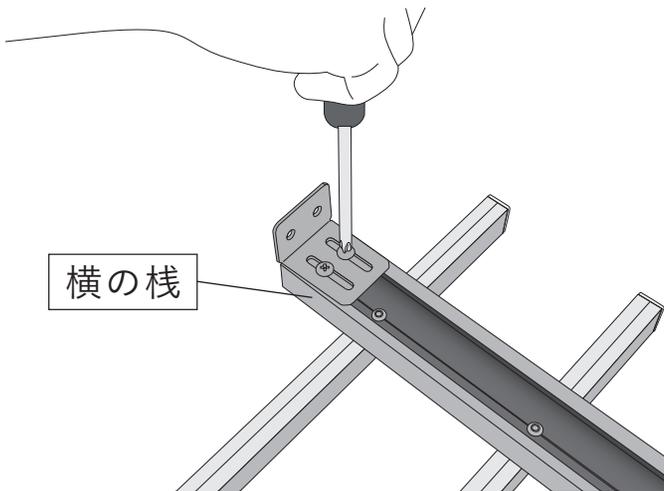
室外



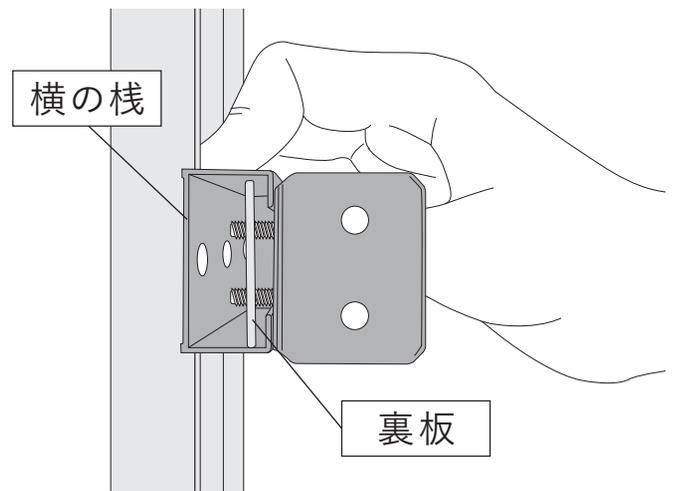
室内

1 面格子にブラケットを仮止めする

縦型タイプの場合

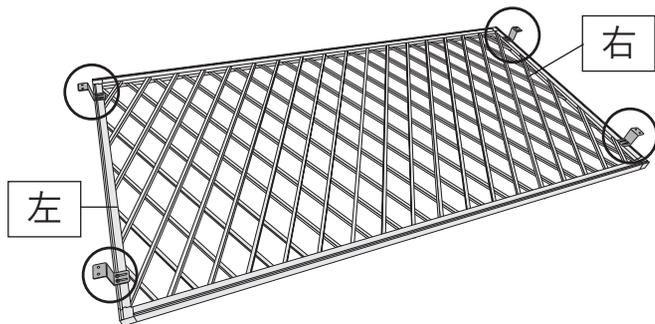


向きを確認しながら、面格子の「横の棧」にブラケットを取り付けます。

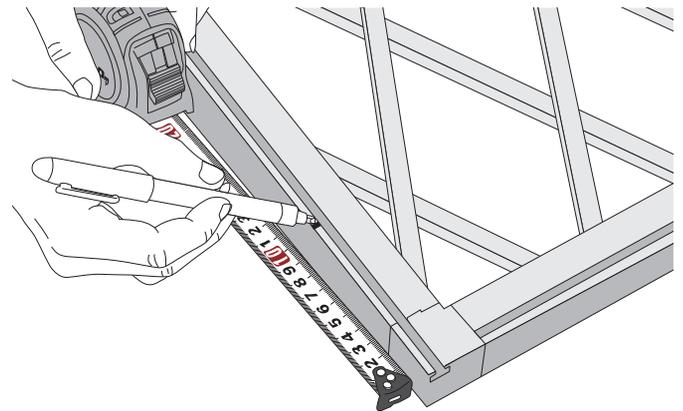


取り付ける際は、ブラケットと裏板の間に「横の棧」が通るようにしましょう。

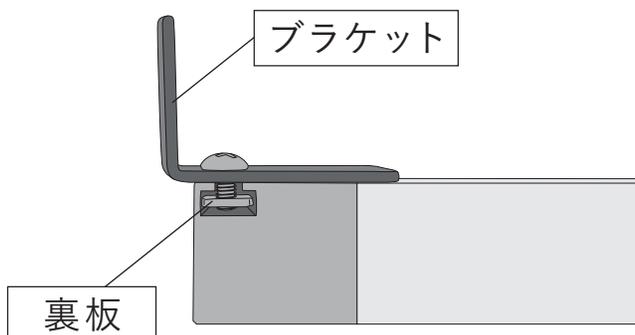
枠付き縦型・クロス・和風井桁タイプの場合



面格子の裏面のレールにブラケットを通して取り付けます。レールは上下左右にあります。左右の辺に通すようにしましょう。

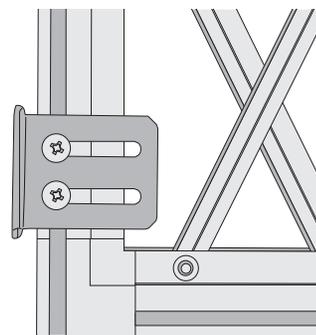


面格子の四隅の端から 10cm* の位置に印をつけます。
*5~20cm の範囲内であれば何 cm でも問題ありませんが、決めた寸法で 4 箇所とも印をつけてください。

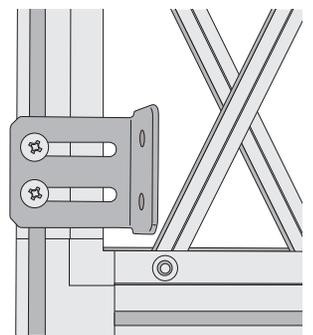


ブラケットの裏板がレールにはまるように、スライドさせて通します。

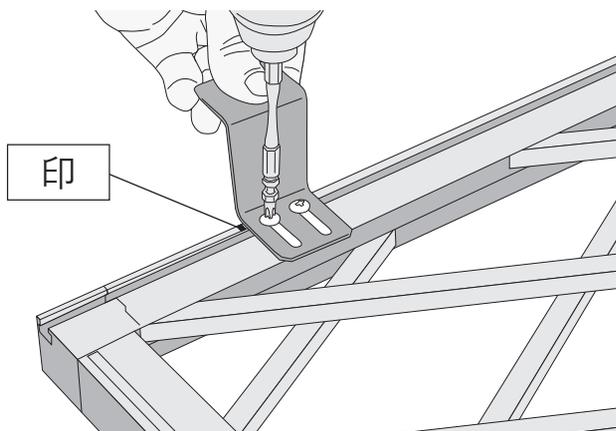
開口の内側の場合



開口の外側の場合

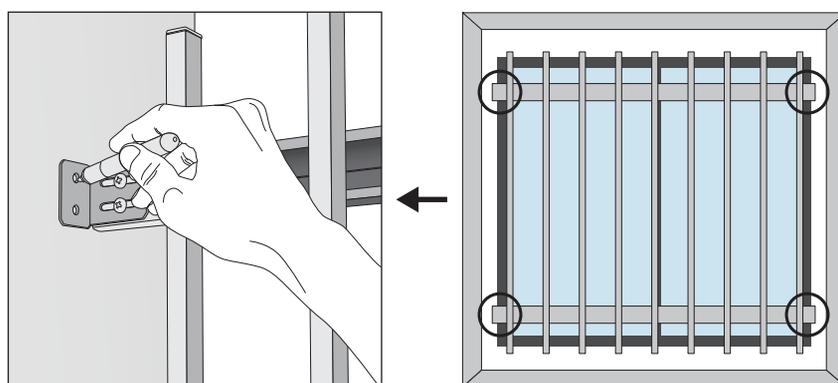


ブラケットの向きは、開口の内側に取り付ける場合と、開口の外側に取り付ける場合とで異なります。



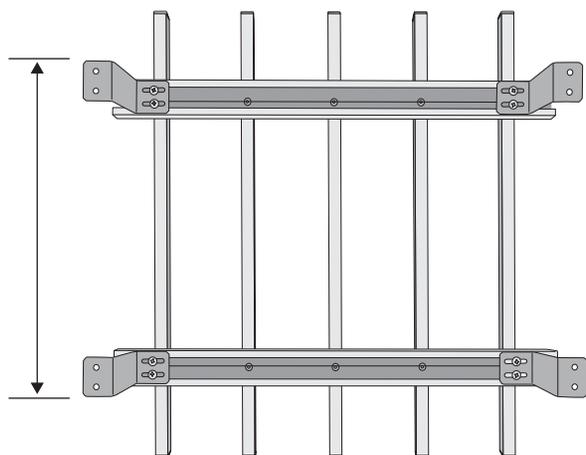
印をつけた箇所の内側までスライドさせ、ドライバーでブラケットを固定します。

2 取付位置を決める

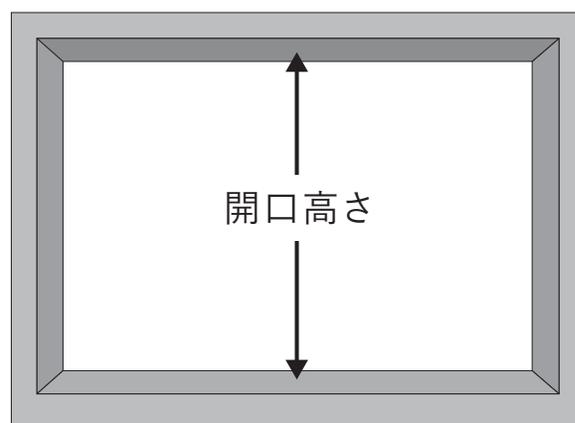


ブラケットを上下左右の4箇所に取り付けるので、均等な配置になるように、あらかじめ印をつけて、下穴を空ける位置を決めておきましょう。

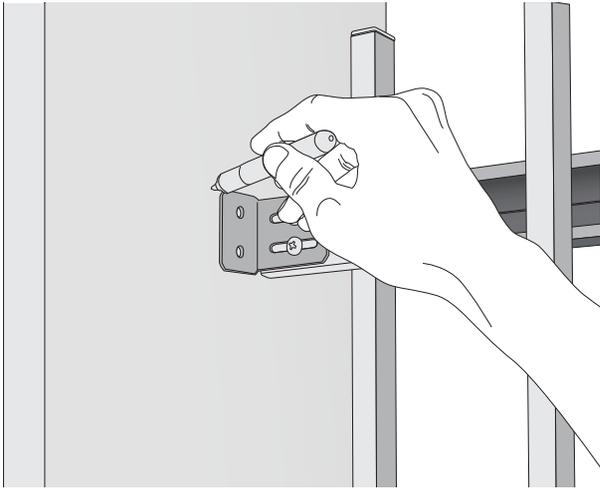
POINT 取付位置を正確に出す方法



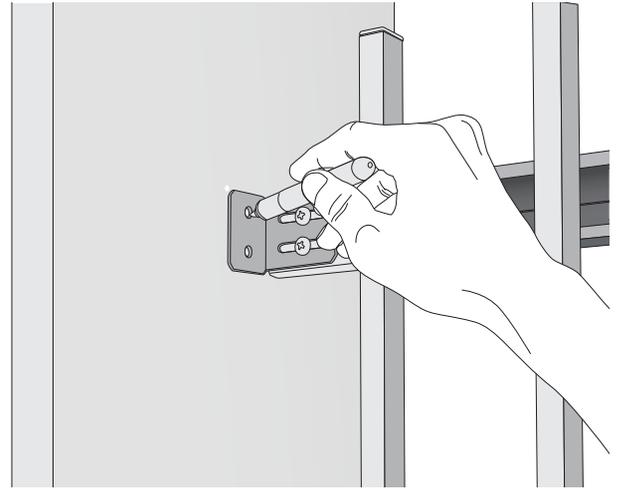
面格子に取り付けたブラケットの上端から下端までの高さ寸法を測ります。



次に開口高さを測ります。

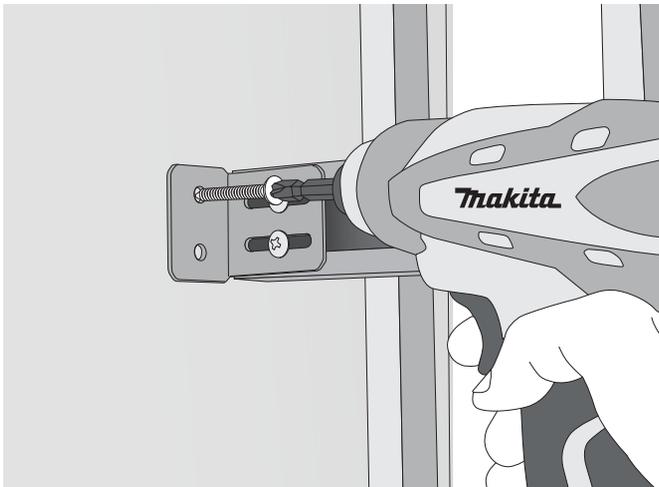


(開口高さ - ブラケット高さ) ÷ 2 の寸法分の位置に印をつけ、ブラケットの角を合わせます。

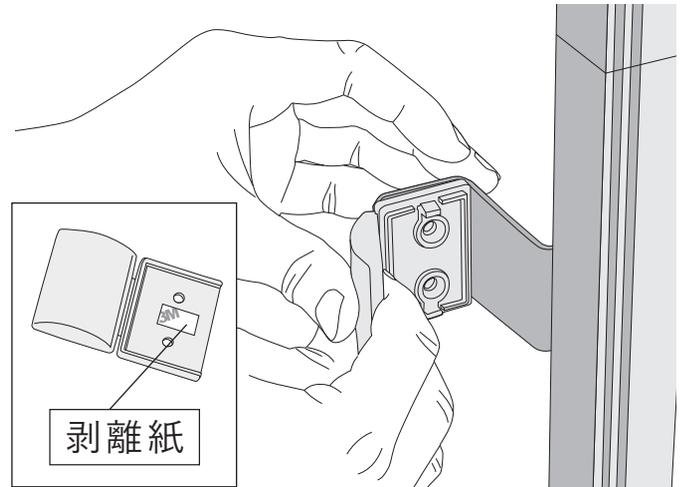


その状態でブラケットの穴に印をつけて、下穴を開ける位置を確定させましょう。

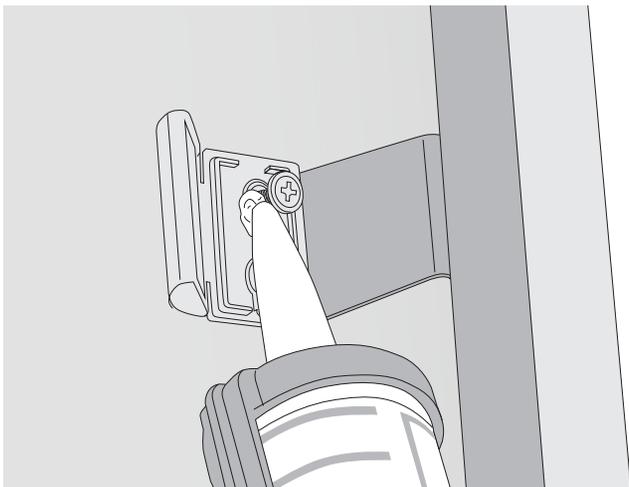
3 最初の一箇所をビス止めする



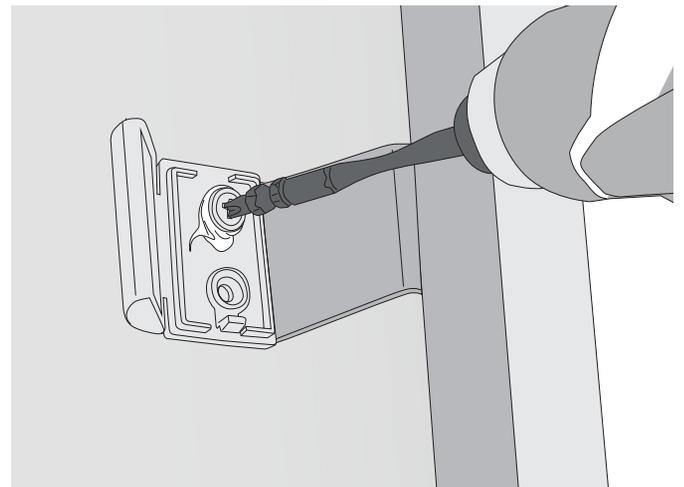
印をつけた位置に、インパクトドライバーで下穴を開けます。



ブラケットキャップ裏面の剥離紙を剥がして、ブラケットに貼り付けます。

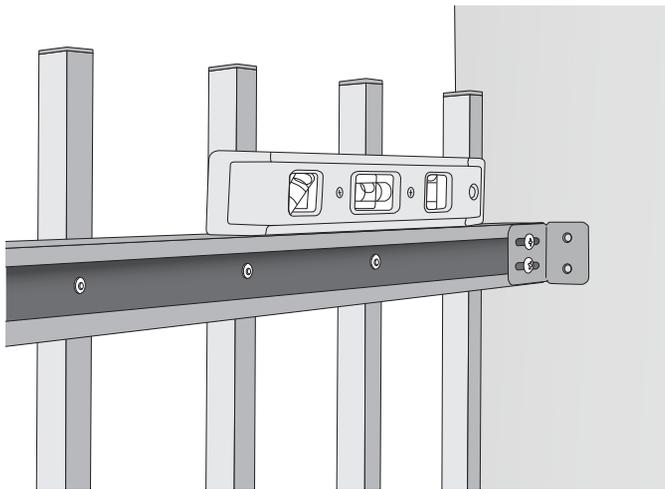


ビスを途中まで入れ、シーリング材をつけます。

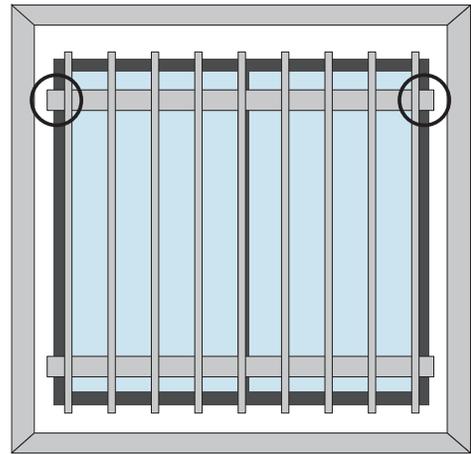


シーリング材がしっかりついていることを確認して、ビスを最後まで止めます。

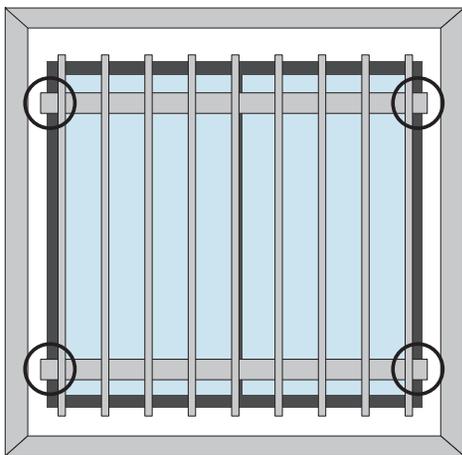
4 残りの箇所もビス止めする



水平器等で水平を見ながら、残りの箇所の下穴を開ける位置を決めます。



左上と右上を最初にビス止めすることで、面格子の位置が固定され、施工が楽になります。



残りの箇所にも下穴を開けて、シーリングをしつつ、ビスを打ち込みます。全ての箇所を固定できたら取り付け完了です。